The Weekly Journal

Rotary
東京臨海ロータリークラブ
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ

SERVE TO CHANGE LIVES

クラブ会長ターゲット
「ロータリアンとしての成熟」
"REACH MATURITY AS A ROTARIAN"
2021−2022年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐　藤　大　輔

国際ロータリーテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
"SERVE TO CHANGE LIVES"
2021−2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ

衛星クラブ議長ターゲット
「クラブライフを楽しもう」
"Enjoy club life"
2021−2022年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
坂　本　康　朋

2022年4月13日
東京臨海 RC　【第1235例会】
東京臨海北斗 RSC　【第44回例会】

東京臨海RC

創立	1994年8月8日
会長	佐藤大輔
副会長	杉浦孝浩
幹事	勝間田健一
プログラム構成委員長（会報担当）	田中紘太

東京臨海北斗RSC

創立	2020年12月18日
議長	坂本康朋
副議長	小松啓祐
幹事	勝間田健一

４月１３日の卓話	４月２０日の卓話
東京臨海 RC 創立 28 周年記念 臨海 4R 合同例会 「ロータリー地域社会共同体（ＲＣＣ）について」 東京臨海ＲＣ副会長　杉浦孝浩様	「イニシエーションスピーチ」 東京臨海ＲＣ会員　山田晃久様 東京臨海ＲＣ会員　畠山孟賛様

≪2022 年 4 月 6 日例会報告≫
東京臨海 RC 第 1234 回
東京臨海北斗 RSC 第 43 回

司会：秋田会員

■点鐘：東京臨海 RC　佐藤大輔会長
　　東京臨海北斗 RSC　坂本康朋議長

■国歌斉唱「君が代」
：ソングリーダー：今井副委員長
■ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
■「四つのテスト」斉唱（歌）
■「ロータリーの目的」東京臨海 RC 抜萃 Ver. 唱和
：杉浦副会長

■来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤大輔会長
　ゲストスピーカー　大澤成美様（東京臨海 RC 会員）
　ゲストスピーカー　酒井教吉様（東京臨海 RC 会員）
■ビジター紹介：岩楯会員

　工藤義孝様（入会予定者）
■４月のお祝い：（親睦委員会　篠塚委員長）
◆会員誕生日
臨海 RC：舛本俊輔会員、白井正三郎会員、笹本寛治会員、太田智久会員、田村浩康会員、今井博会員
北斗 RSC：小林誠会員、寺田千春会員、関口満博会員、菅原友行会員、藤中靖大会員
◆奥様誕生日
臨海 RC：佐久間裕章会員夫人、福田義正会員夫人、佐久間栄一会員夫人、渡辺真吾会員夫人、大澤成美会員夫人、伊藤丈史会員夫人、櫻田誠一会員夫人、太田智久会員夫人、米衛純二会員夫人、諫山豊会員夫人

北斗 RSC：該当者いらっしゃいません。

◆結婚記念日

臨海 RC：篠塚慎之介会員、村社研太郎会員、
尾身治彦会員、寺田雄司会員、大西洋平会員、
秋田將宏会員

北斗 RSC：菅原友行会員、須田隆志会員

◆出席１００％

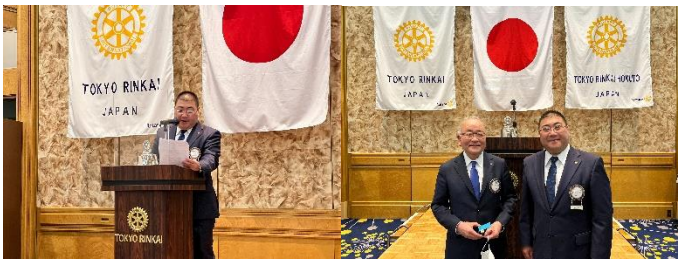
臨海 RC：該当者いらっしゃいません。

北斗 RSC：該当者いらっしゃいません。

◆「誕生日の歌」：ソングリーダー：伊藤会員

◆１分間スピーチ：白井会員

■会長報告：佐藤大輔会長



・ロータリー財団より認証品が届いておりますので贈呈致します。
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー①・襟ピン（サファイア１粒）：大澤成美会員

・次週４月 13 日は、東京臨海 RC 創立 28 周年記念臨海 4R 合同例会です。会員皆様のご出席をお願い致します。来週は、合同例会ですので例会時間を 15 分延長し、例会は 13：45 に終了予定です。

■議長報告：坂本康朋議長

・「東京臨海北斗ＲＳＣ歓迎会を兼ねた創立１周年を祝う会」を５月 27 日（金）に割烹寿賀多にて開催致します。ご案内を東京臨海北斗ＲＳＣ会員様と東京臨海北斗ＲＳＣ初代議長、議長エレクト、東京臨海ＲＣ理事役員の皆様へ送信しております。皆様のご出席をお願い致します。

■幹事報告：勝間田幹事

・ロータリーの友４月号は、３月 30 日に会員皆様のメールボックスに配布しました。

・ガバナー月信４月号を４月１日会員皆様へメール送信いたしました。

・４月のロータリーレートは、１ドル＝122 円です。

・定例理事役員会を本日 14 時より、３階「松桐の間」にて開催致します。４月の理事役員会より、今年度と次年度の合同理事役員会として開催致しますので、今年度と次年度の理事役員の皆様は、ご出席をお願い致します。

■委員会報告

・ＳＡＡ委員会（井上委員長）
次週は合同例会の為、駐車場が込合います。屋根付きの駐車場へ入れることが出来る車は屋根付きの駐車場へ入れてください。たくさんの車が止まれるようにご協力くださいますよう宜しくお願い致します。

■出席状況報告：榎本会員

東京臨海 RC
会員数：61 名
出　席：37 名
欠　席：24 名
出席率　61.67％

東京臨海北斗 RSC
会員数：21 名
出　席：12 名（例会場：２名　ZOOM：10 名）
欠　席：９名
出席率　57.14％

■ニコニコ BOX 報告：伊佐委員

（ご意向）大澤さん、酒井さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしております。：佐藤会長、杉浦副会長、勝間田幹事、須藤会員、今井会員、大西会員、伊藤会員、寺田雄司会員、斉藤会員、小林健一郎会員、入澤会員、佐久間裕章会員、柴田会員、坂本康朋会員、

田村会員、榎本会員、虻川会員、熊澤会員、篠塚会員、内海会員、秋田会員、山田晃久会員、渡辺会員、髙橋会員、白井会員、今会員、地引会員、金城会員、吉成会員、伊佐会員

（ご意向）本日、イニシエーションスピーチさせて頂きます。よろしくお願いします。：酒井会員、大澤会員

（ご意向）こんにちは。本日もよろしくお願い致します。：倉田会員

【*31 件　54,000 円　今年度累計　1,348,000 円*】

■卓話　（紹介者：井上 SAA 委員長）

「イニシエーションスピーチ」

東京臨海ＲＣ会員　大澤成美様

チャーターメンバーでありますけれども、この会でも創立メンバーは最年長の須藤さん、それから私と同い年の斉藤実さん、多分この 3 名になってしまったんじゃないでしょうか。後ほどロータリークラブに入会させて頂いた経緯はお話しいたしますが、まず、私の簡単なプロフィールをお話しさせて頂きます。

戦後、私の両親が小岩に引っ越してきました。私は 4 人兄弟の末っ子なんですけど、私だけ小岩で、終戦の 3 年後、西暦で言うと 1948 年、元号で言うと昭和 23 年、小岩で私は生まれました。それ以来小岩で、73 歳になります。学校の方は、小岩の地元の区立小、中学校を卒業しました。その後、私の兄が、私が高校 2 年のときに司法試験に受かりました。私より学齢で 8 つ上なんですね。父から勧められ、私はもともとどちらかというと理科系が好きで、高校 2 年まで理数系のクラスにいたんですが、3 年から司法試験を目指して文科系に移り、中央大学法学部に進学しました。

ところがあまりできよくないですから、卒業して何とかして、ようやく司法試験に受かりまして、その当時、合格後 2 年間、司法修習生として、これは国家公務員ですね。国から給料をもらいながら勉強できるのですから、何とありがたいとその当時、思いました。その当時、司法試験の合格者は 450 名ぐらいいました。各地に配属になりまして、私は千葉を希望しました。千葉で司法修習、現地の裁判所、それから検察、それから地元の弁護士、そういうとこに所属してまして実務を体験するんです。当時は、成田空港建設反対闘争がすごいときで、昭和 50 年かあの頃で、検察も裁判所も結構大変でした。

それで修習終わりまして、まずは法律事務所で、最初は勤めるんですね。最初から独立して稼ぐなんて、なかなかできないことなので。そこでお給料もらいながら、事務所で仕事をしていたということでした。そういうことで、勤務弁護士として 3～4 年勤めさせていただきました。その後、独立しまして、千代田区の飯田橋という地域で、大澤成美法律事務所という名前で開設しまして、弁護士になりました。

40 年近くそれでやってたんですが、実は令和元年 12 月、息子が所属する虎ノ門共同法律事務所ってところがありまして、そこのパートナーが体調を崩しまして、私に参加しないかっていう話になりました。令和元年の 12 月から虎ノ門共同法律事務所で、パートナーとして参画して、今日に至るっていうことです。そこの事務所は息子も所属しておりまして、今は、弁護士 3 名、事務局 2 名っていう小規模でやってます。これが私の簡単なプロフィールです。

ロータリークラブに入った経緯

ロータリーに入った経過なんですけれども、先ほどご紹介あったように、創立メンバーなんですが、実は斉藤実さんと私とは、先ほどもお話ししたように同い年なんです。しかも私が 9 月 2 日、斉藤さんが 9 月 4 日、私が 2 日間だけ兄貴ですね。そういう関係もあるんですが、それはそれとしまして。私が実は 37 歳のときに東京青年会議所に入会させていただきました。そのときもう既に、先輩で斉藤実さんが青年会議所いわゆる JC に入ってました。ですから、私と斉藤さんは 37 歳のときからのお付き合いですね。

今、お互いに 73 ですから、人生の半分以上、斉藤さんと付き合っていると、こういうことになるわけです。斉藤さんの会社の顧問もさせていただいて、お金を頂戴しております。

そういうことで、斉藤さんから当クラブ創立時である平成 6 年 8 月より前に、私の方にお誘いの電話が来ました。JC っていうのは、40 歳で卒業なんですね。そういう組織と縁が切れて少し楽になった考えてましたら、斉藤さんから電話がありまして、実はロータリークラブを立ち上げるから、それのメンバーに入らないかと、入らないかっていうよりも、入れと言うんですね。それで、斉藤さんには抵抗できないですから、入らせていただきました。私は、斉藤さんほど熱心なロータリアンじゃありませんでした。斉藤さんはバギオや地区などいろいろなところで活躍されてますが、私は大したことしてません。そういうことで、ロータリー生活をしてきたわけですけれども、こんな私なんですが、実は会長になれっていう話がありました。私が会長になったのは 2011 年度の会長です。その前が、今は退会されました森山さんの会長年度でした。私、幹事も何もやってなくて、分かってないもんですから、2010 年森山会長年度で、いきなり副会長をやりました。1 年間勉強させていただいて、2011 年～2012 年度の会長を務めた次第です。

会長になった年は、2011 年に 3・11 の東日本大震災があった年でした。ですからその年度は、かなりそれに関係する事業がメインになってきました。その当時、東分区に 15 クラブあり、今は増えてます。15 クラブだったんですが、その 15 クラブ合同で被災地支援のため

のチャリティーコンサートを開きました。それがちょうど 2012 年 3 月ですから、3・11 から 1 年ですけれども。「あれから 1 年」と銘打ってトリフォニーホールの大ホールでチャリティーコンサートを開きました。
チケット販売して、その収益を被災地への支援金としたのです。皆さんにご協力いただいて、1300 名ぐらい人が来たんです。その収益金を被災地に寄付しました。特に仙台市の教育委員会、教育関係の機関に寄付させていただきました。それが私の会長の思い出でありまして、非常に貴重な経験をさせていただきました。ロータリアンとしては、そのぐらいですかね。
私は、この例会出席率悪いのですが、実は私、ロータリーの例会出席免除制度がありまして、あんまりこういうこと言うといけないのかもしれないですけど、一応規定があるんですね。年齢とクラブの在籍年数を足して、これが 85 を超えると、免除申請ができるんです。私は免除申請して出席免除として頂いております。ここのところあまり出席できてないですが、今後、なるべくまた出席するようにしたいと思います。

ロシア・ウクライナの話

最近、コロナ禍に加えて、ウクライナが非情に大変なことになっていて、テレビではしょっちゅう悲惨な状況が報道されてますけれども、早く何とかならないかなと思うんです。21 世紀は希望の世紀なんて最初言ってたんですね。希望の 21 世紀、一方で、あまりにも今回はウクライナというところで、ああいう悲惨な状況があると、これは何なんでしょうかというふうに思います。世界はどういうふうになっていくか、これは注視してウクライナのために微力ながら、何かできることがあればというふうに思っております。
それからウクライナっていう国ですけど、やはり複雑な歴史を持ってるんですね。今回、ウクライナの問題が起きて、実は本を買って読みました。これはウクライナの元駐在大使だった黒川さんが中央公論新書から『物語 ウクライナの歴史』という本を出されていまして、今読んでいるところです。まだ途中なんですが、やはりロシアとウクライナの関係、いろいろあったようで、大いに勉強になります。ぜひ皆さんも機会があったら、お読みいただくといいかなというふうに思います。
ウクライナっていうのは、実は今まで、特に東南アジアの人間からすると、あるいは日本からすると、ヨーロッパの東方のはじっこの方で、あまり縁がないんですね。でも今回この本を読んでみますと、実はウクライナというのは、ヨーロッパでソ連に次ぐ第二の大きな領土をもっているんです。しかもキーウ、昔はむしろ、今で言うロシアよりも、文化と工業が非常に発展していたほか、ヨーロッパの穀倉地帯といわれます。そういう国なんですね。
しかも黒海に面していて、ロシアは不凍港が欲しくて、盛んにウクライナにちょっかい出して、今度は東部に侵攻しようと。ほんとは全土取るつもりだったんでしょうが、そこはそういうふうにいかない。ほんとに世界はこれをどういうふうに平和な方向に持っていくのか、非常に悩ましいことだと思います。そういうことを悩みながら、先ほど予鈴が鳴りましたものですから、終わりにしたいと思います。
ただ、これはまた別の話になりますが、私は最近、つくづく思うんですね。ロータリーにしろ何にしろ、やはり人のご縁というのは非常に大事だと思います。あのとき、あの人と会わなかったら、今。そういうことを思うと、やっぱり人のご縁を非常に大事にしなくちゃいけないということでございまして、今後も一つよろしくお願いします。拙いお話でしたが、これで卓話を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

東京臨海ＲＣ会員　酒井教吉様

今日は、知らない世界をちょっとお話ししたいと思います。私の生い立ちから。愛媛県宇和島市って分かりますかね。四国のはずれで生まれました。1957 年ですから、実は、全然見えないんですけど、65 になっちゃいました。3 月 13 日。とり年なんですけど、柴田さんが一回り下なんですよね。同い年ぐらいの感じでお付き合いさせていただいております。ありがとうございます。
実は初めてしゃべるんですけど、僕、実は生まれて 5 歳のときに、おやじ亡くしてるんです。おやじが亡くなりまして。私、ばあちゃんっ子で、5 歳までは、ばあちゃんの背中にずっとおんぶしてもらって、5 歳まで歩いたことなかったんですね。ですから小学校のとき、かけっこがめちゃくちゃ遅くて、野球やるまでは全く運動神経悪いガキでした。
そのばあちゃんが私に、おやじ誰がいいかって聞いたんですよね。おやじの弟がいまして、叔父さん。叔父さんがいいって。そしたら、その叔父さんが京都に住んでまして、京都にもらわれるようにしていきまして。母親が、生活のためにしょうがないだろうってことで。2 歳下の妹がいて、京都に引き取られましてね。
京都も市内じゃなくて、はずれの、大阪の境のほうに長岡京っていうところがありまして、そこにおりました。小中高そこで育って、高校時代は野球やってました。中学もやりましたけどね。坂本さんみたいにうまくなれなくて、一応甲子園目指すということでやってたんですけど、結局は阪神タイガースのファンだけで終わっちゃったというのが、野球の話です。
それで実は、いろんなことあったんですけど、めちゃくちゃラッキーな人生を歩んでまして。第一のラッキ

ーが、おやじが東京に出るってことで、高校2年のときに東京へ来たんですね。実は京都府立の学校行ってたんで、都立に入れるかと思ったら、入れなかったんです。それがめちゃくちゃラッキーで、知り合いの人で明治学院ってとこの教授がいまして、その人に紹介してもらって、私、明治学院東村山高校、入った瞬間にクラスでトップになりまして、自分でもびっくりしました。京都府立がケツから2番目だったんです、野球しかやってなくて。
そんなことで、大学も試験なしで入れました。明治学院の経済学部経済学科っていうところ卒業して、学生時代はバンドしかやってなかったです。夜バンドやって、アルバイトやりながらマージャンやりながら、ずっと学生生活を送って、試験のときだけちゃんと勉強しました。結果、Aが25個ありました。それが就職に影響するんですけど、第二のラッキー、実は僕、バンドやっててプロになろうと思ってたんですね。最後にオリジナルのコンテストがあって、全国大会で優勝、準優勝はプロになれる。3位で終わっちゃったんですね、最後。
3位で終わったのが功を奏しまして、バンドやってたらせいぜい月10万円ぐらいしかかせいでないと思います。打ちひしがれて本屋にいったら、取り扱い主任者という本があって、それに合格率7％って書いてあって、普通はそれにトライしないですよね。僕、受かると思ったんですよ。トラベルジャーナルってとこに通ってそこで10人仲間がいました。受かったの僕だけだったんです。やっぱり7％かと思いました。その資格で日本旅行という社員5000人の会社に入ろうと思いましたが試験がめちゃくちゃ難しくて、落ちたと思ったらラッキーがあって、おじさんに国鉄の偉い人がいて電話したらとんとん拍子で合格して、社長になりたいと思ったんです。いろんなことやりました。朝9時から次の日の朝3時4時まで仕事をして、終わったら飲みに行って新橋・六本木に飲みに行って、家で1時間仮眠をとってシャワーを浴びてまた9時から出社するわけです。結果的に肝臓をこわしちゃいまして。こんな猛烈社員でやっていて、評価されたせいなのかLAに駐在に7年いました。最初の朝礼で日本旅行で送客を4万人から10万人にしてかえるんだと。結果的にできたんですね。そういうことで一生懸命やって30歳で管理職になって、同期で一番早かった。同期で一番実は優秀でした。ところが、JRの子会社なんです。なので常務にしかなれない、社長になれないんです。そういうわけでやめました。やめたときにいろいろあったんですが、会社に意見を書きました。その意見が謀反といわれて、念書を書きました。それがないとやめれないということで。１つは、日本旅行の販売をとらないこと、社員引き抜かないこと、日本旅行に未来永劫関わらないことこれに同意したら退職金くれるというので押してやめました。それが次の会社いってラッキーなのは、アメリカの仕事がとれた。かなり難しい販売。写真があるんですけれどもラッキーが続くのですが、私の人生の目的は世界制覇と書いてます。私と出会って、あいつみたいに頑張ろうとか影響力もつ人間になりたいと海外にどんどん会社をつくっていった。それによって会社のコンセプトをつくった。これまでラッキーでいったんですけど、ここ最近苦悩の時代がやってきました。1つは2020年のコロナでかなりおちこんできました。ロータリーに入った2013年は年商12億だった。10周年の2017年には30億円ぐらいにはなったんですね。ロータリーのおかげだと思っています。2019年に60億円売上があったのが、6000万円です。考えられないですよね。これは絶対神様の与えてくれた試練、いい気になるなと。2年考えました。もう１つはここだけの話ですが、家内が2年前から具合が悪くなって施設にいます。いま実は独身なんです。笑わないでください。2つの苦悩がありました。ただ思ったのは、斉藤さんのお誘いのおかげでチャンスを与えてもらって、ロータリーでこういうようなことをやらせてもらってるんですが大変な状況で知り合えた仲間、先輩方がいらっしゃったおかげで心身共に元気でいられた。苦境に立ち向かうことができた。2022年度今月からはじまりましたけど、2019年までにためこんだ2億円を全部つかった。5か年の2026年までに取り戻そうと会社はやっております。会社は自分の人生だと思います。会社やめて名実ともに、事業と人生と一緒にやっていくとしましたので、やりぬく決意で、みなさんロータリー楽しいですよね、これなかったらやばかったです。
実は僕ラッキー続いています。そのどんでん返しでよくわかるんです。毎日、人生馬鹿だと思うが、人生楽しんでいます。あとはスライド見ていただければと思います。ロータリーの写真は遊んでいる写真も多くないですか？楽しいですよね。ロータリーがあるから事業がのびると確信してます。若い人たちにもおすすめします。かなりはしょりましたけどありがとうございました。

■点鐘：東京臨海RC　佐藤大輔会長
　　東京臨海北斗RSC　坂本康朋議長